

令和4(2022)年度 下都賀地区小・中・義務教育学校主幹教諭・教務主任研修会 研修の振り返り

令和4(2022)年11月8日(火)実施
下都賀教育事務所 学校支援課

1 研修の目的・内容等

(1) 目的

下都賀地区の学校教育を展開していく上で、主幹教諭・教務主任としての資質の向上を図るとともに、教育課程の改善や子どもの資質・能力の育成に関してカリキュラム・マネジメントの視点から研修することを通して理解を深め、各学校教育のより一層の充実を図る。

(2) 会場

南河内公民館

(3) 内容

○講話・協議

講師 壬生町立睦小学校 教頭 安西 和子 先生

2 本研修で確認したこと

(1) 講話から

○令和の日本型学校教育の構築を目指して

- ・主幹教諭・教務主任の役割
- ・人材育成・若手教職員の育成
- ・自校の強み・弱みの分析(SWOT)

○カリキュラム・マネジメント

～カリキュラムリーダーシップの視点から～

- ・カリキュラム・マネジメントとは
- ・リーダーシップとカリキュラム・マネジメント
- ・ECRS論、PM理論



(2) 協議から

- ・各校の強みをどのように教育課程に生かすかについて
- ・主幹教諭・教務主任としての関わり・取組、9月時点での進捗状況について

3 本研修で学んだこと

【主幹教諭・教務主任の役割に関わること】

- ・教職員が教育目標に向けて実践を進めていくために、自らのマネジメント力を上げていく必要があると感じました。
- ・若手教職員の育成が非常に重要になっています。共通理解を教職員間で行うことにより学校全体や若手の育成に繋がると感じました。つなぎ役と雰囲気づくりを意識しながら取り組みたいと思います。



- ・校長の経営方針、職員の思いを受け、学校全体の調整に粘り強く取り組んでいきたいと思ひます。
- ・教育課程の繋がりを見える形にしていくことも自分（教務主任）の仕事なのだと、再認識しました。講話で紹介されたいろいろな理論を生かして取り組んでいきたいと思ひました。
- ・子どももやってみたい、先生方もやってみたいと思えるような教育課程を目指し、皆が同じ方向を向いて取り組んでいけるよう、教務主任としてリーダーシップを取っていききたいと思ひます。
- ・職務の内容を具体的に再確認できました。職責の重さとともに、やりがいも感じました。

【カリキュラム・マネジメント、教育課程改善および編成に向けた取組に関わること】

- ・子どもの資質・能力の向上、子どもにとってどうなのかということが基本であることを再確認できました。迷った時には「目指す子ども像」に戻ることを念頭に置いて取り組みます。
- ・それぞれの教育活動について、何を目的としているのか、育てたい資質・能力から見直しを図っていききたいと思ひます。
- ・教育課程が教育活動の重要な指針になることを再認識することができました。
- ・他の市町、異なる規模の学校と話し合うことができ、参考になる取組や考え方を得ることができ、今後に生かしていききたいと思ひます。
- ・学校の特色を生かすためにも、自校の強みは何なのかを全職員で共通理解して今後の教育課程に生かしたいと思ひます。
- ・SWOT分析を用いて、学校の強みを生かした教育課程の見直しをしていこうと思ひます。
- ・SWOT分析を通して、本校の教育環境や取組のよさを確認する事ができました。十分に生かしていけるよう先生方と確認しながら教育課程を編成していきます。
- ・「ある物生かし」で、最大限よさを活用していけるようにしたいです。
- ・E CRS理論を参考に、本当に子どものためになる教育活動を見直したいと思ひます。
- ・働き方改革や新型コロナウイルス感染症対策でさまざまな行事等の見直しがされているが、子どもの資質・能力の育成に向けて、持続可能な取組を全教職員で考えていききたいと思ひます。
- ・カリキュラム・マネジメントの一層の充実を図るに当たって、「一人の10歩より、10人の一歩」という言葉が強く心に残りました。

